

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1020	社会教育推進経費	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	05	05	社会教育費
			01	01	社会教育総務費
担当部課名	教育委員会 伊賀分室		101	101	社会教育推進経費
作成者氏名	藤岡雅之	連絡先	45-9116	01	社会教育推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	社会教育諸事業への参加者及び市民	市民参加のための社会教育諸事業(社会教育、社会同和教育)の展開が進められる。地域における文化教育活動が活発に行われるようになる。
本年度事業内容	社会教育諸事業(社会教育、社会同和教育)を進めるための臨時職員の賃金及び共済経費(1名分)の執行。	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		社会教育法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0, 2	0, 2	0, 2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,630	2,388	5,059
委託料			
賃金、共済	1,446	1,536	4,209
使用料	513	257	0
その他	671	595	850
合計(A+B)	4,070	3,828	6,499
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	4,070	3,828	6,499
上記①～③に関する特記事項			
臨時職員1名(事務補助員)			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
臨時職員従事日数	日	203	205				
社会同和教育指導員	日			240			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
業務日数	職員従事指数	日	203 目標 (200)	205	
業務日数	職員従事指数	日	目標 (240)		240

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

事務補助員として1名の臨時職員雇用をしてきているが、伊賀支所、教委分室の業務の内容から、社会同和教育指導員としての雇用の必要性が重要であることに鑑み、H19年度から委嘱雇用したい。尚、管内小中学校PTA補助金については、平成17年度で打ち切った
--

評価	必要性	4	伊賀支所管内の社会教育を進めるに当たり、職員配置実情から臨時職員の雇用を必要とし、尚且つ、社会同和教育の強い必要性から今後、同和教育指導員の配置を必要とする。今後さらに人権教育、人権啓発を進める。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	3		